



加古川商工会議所女性会
なかお るみこ
 会長 中尾 るみ子 さん

5月に行われた定期総会において会長に選任された中尾さんに、新会長としての抱負や今後の事業についてのお話を伺いました。

会員の役に立てる 会であるように

意見に耳を傾けて

会長として、新しい事業を進めるべきか、継続事業をテコ入れするべきかなど考えなくてはいけないのでしょうか、私はまず、会員の方々が女性会に何を求めているのかを、改めて考えることが先だと思っています。何を望んで女性会に所属しているのか、どんな事業なら参加したいのかを知っていないければ、こちらの思いだけが詰まったことをしてみても会員の満足は得られません。

限られた時間を有意義なものにするために、会員の意見に耳を傾け、求められていることに少しでも近づけるような事業を実施していきたいと考えています。

経営者に益をもたらす「事業所紹介」

継続していく事業としては、女性会の代名詞ともいえる『靴下まつり』です。新型コロナウイルスの影響で2年前は対面販売をやめて抽選に、昨年は青年部が主催する楽市の会場で販売しました。日岡山公園での実施は感染対策にも有効的でしたし、これまでお仕事で平日にお越しただけなかった方々にも楽しんでいただけたのではないかと思います。しかしその反面、これまで長年靴下まつりを楽しみにお越しいただいていた高齢の方には少し遠く、お越し頂けなかった方もいて残念な思いもあります。今後、靴下組合さんと今年の実施場所・方法などを検討してまいります。

ほかにも定例の『会員事業所紹介』は是非とも続けていきたいと考えています。人前で話をする、その内容をまとめるということはもちろんですが、経営者として自社の話をするために強み・弱みを再認識し、また他社のやり方や考え方を聞くことで、自社も見直す良い機会となりますので、今年も是非とも続けていきたいと考えています。

他にもビジネスプランコンテスト実施への協力など、女性経営者として得るものが多くなる事業実施を考えてまいります。

期待される女性会に

この2年ほどは新型コロナウイルスの影響で出来ないこともありましたが、新たなことにチャレンジできた2年間でもありました。今まで考えもしていなかったリモートで会議をしたのもその一つです。自分の考えが「常識」「普通」だと思いがちですが、私の知らない「常識」「普通」は世の中に溢れています。それを改めて認識した2年間でもありました。

これまでも私が「こんなセミナーはどうか？」と思っただけでも、他の人はそんなに興味を示してなかったり、逆に私が思いもしなかったテーマに皆さんが興味をもちたりと考え方や興味は十人十色です。メンバーには忌憚なく、意見を聞かせていただければと思います。始めにも言いましたが、会長として内外の意見にしっかりと耳を傾け、メンバーが女性会に求めていることは何か、地域が女性会に期待していることは何かを探りながら、メンバーと手を携え任期を全うしてまいります。まだ女性会に加入されていない皆さんも是非とも私たちと一緒に活動しましょう。お待ちしております。